

平成 31 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2019 年 6 月 12 日 (水) 14 時 00 分から 14 時 40 分まで

場 所 東京大学山上会館 001 会議室

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

6. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

(1) 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び決算報告の件

(2) 第 2 号議案 平成 31 年度事業計画及び予算計画の件

7. 閉会

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成30年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、精力的に活動を行いました。以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

以下のように、1回のシンポジウムを実施した。

もったいない学会シンポジウム 「熱エネルギーをMOTTAINAIの視点から考える」

【日時】2018年6月26日(火) 15時15分から17時15分

【会場】貸し会議室：東京都港区浜松町1-1-9 三恵ビル4階

■15：15-16：15

【講演1】

タイトル：「熱エネルギー有効利用の飛躍的拡大に向けて」

発表者：藤岡恵子 株式会社ファンクショナル・フルイッド 代表取締役

■16：15-17：15

【講演2】

タイトル：「リモートセンシングによる「熱」の観測」

発表者：外岡秀行 茨城大学工学部情報工学科教授/IT基盤センター長

2) サロンの開催

以下のように、3回のサロンを実施した。

2-1) 第1回サロン

第1回サロン 4月7日(土)

「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) を読み解く」

【日時】2018年4月7日(土) 14時45分から17時30分

【会場】東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

■14:45 ~ 15:15

【講演1】

タイトル：「SDGsと日本、そして私の思い」

発表者：石井吉徳 名誉会長

発表資料

■15:15 ~ 15:45

【講演2】

タイトル：「SDGsの近況と問題点」

発表者：鈴木秀顕 理事

発表資料

■15:45 ~ 16:15

【講演3】

タイトル：「滋賀県の取り組み方を考察～広報誌滋賀プラスワンから～」

発表者：辻村琴美 理事

2-2) 第2回サロン 8月7日(火)

「関東大震災による逗子の地震・津波被害と逗子のモッタイナイ」

【日時】2018年8月7日(火) 15時00分から17時00分

【会場】東京大学農学部内、向ヶ岡ファカルティハウス

■15：00-15：40

【講演1】

タイトル：「1923年関東大震災 -逗子の空撮写真と地震・津波の証言」

発表者：蟹江康光・蟹江由紀 (ジオ神奈川)

■15：40-16：00

【講演2】

タイトル：「逗子のモッタイナイ-7Rの活動」

発表者：蟹江由紀・蟹江康光（ずしゼロウエイストの会）

2-3) 第3回サロン 11月30日(金)

もったいない学と持続性学の接点

【日時】2018年11月30日(金)9時30分から12時00分

【会場】東京大学山上会館大会議室

【講演1】

タイトル：「もったいない学」を考える

発表者：石井吉徳 名誉会長・東京大学名誉教授

■10：30-11：30

【講演2】

タイトル：持続性学：「成長の限界」から「バランスへの回帰」への道

発表者：林良嗣 中部大学総合工学研究所教授・名古屋大学名誉教授

3)その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

・3回開催。

(平成30年4月7日、8月7日、11月30日)

・適宜メール審議

2) 総会

通常総会を1回開催した（平成30年6月26日）。

3. 会員の状況

会員の現況(平成31年3月31日現在)

※カッコ書きは前年度

正会員：92名(107名)

一般会員：83名(96名)

学生会員：1名(2名)

賛助会員：1名(2名)

計：178名(208名)

II. 平成30年度決算報告

下記資料を参照下さい。

・収支計算書(案)

・貸借対照表(案)

・財産目録(案)

・監査報告書

第2号議案 平成31年度事業計画及び予算計画の件

平成31年度事業計画（案）

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現に向けて、社会へ情報発信を行う。具体的には、理解のためには専門的知識を必要とする社会に生きるさまざまな資源、エネルギー、環境に関する科学・技術を科学的、中立的に研究し、その成果を体系的にかつ国民が理解できる内容でまとめて発信して、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

具体的には入会金と年会費無料の「支援会員」を設け、積極的にSNSで公開されている動画、インターネットでアクセスできる優れた報文、優れた書籍などを紹介し、情報を共有する会員を増やす。さらに学術大会、シンポジウム、サロンを開催して成果をまとめ、もったいない学会の電子出版としてインターネットを通じて公開し、有料会員を増やす。

1. 学会事業活動

1) 学会WEBの発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会WEBを構築する。学会WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌シフトムの機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS（Facebook, Twitter等）への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

シンポジウムを1回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。

3) サロンの開催

サロンを4回程度開催する。

4) 研究会の開催

「Limited Earth 研究会」にて、数回勉強会を開催する。

5) 出版事業

- ・WEB会誌発行

「もったいない学会WEB学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

- ・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、国際的な発行を含めて計画する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

4回程度開催する。

- ・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 31 年度事業予算計画（案）

| (単位：円) | | | |
|-----------|---------|----------------------|---------|
| 収入の部 | | 支出の部 | |
| 項目 | 予算 | 項目 | 予算 |
| 会費収入 | 350,000 | 事業費 | 150,000 |
| 正・一般・学生会員 | 330,000 | シンポ・サロン・講演会開催費 | 20,000 |
| 賛助会員 | 20,000 | WEB サーバレンタル・管理費 | 100,000 |
| 正会員入会金 | 0 | Limited Earth 研究会活動費 | 30,000 |
| | | | |
| 事業収入 | 0 | | |
| | 0 | | |
| | | 管理費 | 200,000 |
| | | 事務作業委託費(印刷・通信費含) | 190,000 |
| | | 振込手数料 | 10,000 |
| | | | 0 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 小計 | 350,000 | 小計 | 350,000 |
| 昨年度からの繰越金 | 423,968 | 予備費 | 423,968 |
| 収入合計 | 773,968 | 支出合計 | 773,968 |